

岩室駅構内横断地下通路 利用開始 和納小児童、保育園児の 作品を掲示

皆様のご理解とご協力をいただき、平成12年秋から建設をすすめてきました駅地下通路が完成し、予定より早く3月20日に利用を開始しました。

通路内には、警備会社と接続した防犯カメラ2台と警報装置2台が設置されています。また、地域情報発信の場として利用が期待される掲示板6基も設けられ、早速、和納小児童と和納地区2つの保育園児の作品などが掲示されました。

なお、地下通路の利用については、次の事項に注意して、皆さんが安心して利用できるようご協力をお願いします。

●利用に際しての注意事項

- 1 通路内及び周辺にゴミ・空き缶などの投げ捨てはやめましょう。
- 2 壁や屋根を傷つけたり落書きなどは絶対にやめましょう。
- 3 通路内には長時間留まらないでください。
- 4 自転車は押して通行しましょう。

●そして万が一のときは

- 1 通路内にある警報装置を押してください。
- 2 岩室村役場 ☎82-4111 警察 ☎110にご連絡ください。



●皆さんからの情報を募集しています。地区内行事、ボランティア活動など何でもOK。

企画調整課 ☎82-5728

までご連絡ください。

●広報いわむろにあなたが写っていましたら、企画調整課へご連絡ください。写真をさしあげます。



■後列左から：ひぐちきこちゃん、かめやまはるかちゃん、こやなぎももこちゃん
■前列左から：おおいわまなちゃん、さいとうわたるくん、おがわひろかちゃん、あんどうめいちゃん

わたしの自信作

■和納保育園 五歳児
作品名…ピカピカの1年生

忠魂碑石灯籠の書も

乃木希典揮毫のものか?!

和納三社神社脇の忠魂碑は、乃木希典揮毫の旨、碑裏の銅板に刻まれています。先日、和納にお住まいの72歳の方から、「忠魂碑下の2本の石灯籠に刻まれた書も乃木大将が書いたものではないか」とするお話がありました。情報をお寄せいただいた方によると、「乃木がいた、第2師団司令部(仙台)で和納出身の軍人が乃木と交流があり、そんな縁から揮毫された」と推測されるそうで、「調べてみたが乃木大将は、いずれの書にも自らを証する落款がない。詳しい人に、刻まれた灯籠の書の写真をみせたが原書があればはっきりするとのこと。この原書が和納のあるお宅にあると聞いたが・・・。」とのお話でした。さっそく原書を保存されていると思われるお宅にその旨尋ねてみましたが「話しを聞いた事がないし、探してみただけど見あたらない」とのこと。中央の碑は乃木希典のものでそうですが、その脇の2つの石灯籠(年代が異なる)に刻まれた文字は、はたして何と書かれているのか? だれが書いたものか? 情報をお持ちの方は、お聞かせください。

※乃木希典(1849~1912)・・・明治期の陸軍軍人。第1旅団長、第2師団長、台湾総督、第11師団長を経て、日露戦争では第3軍司令官に任命される。明治37年(1904)大將。

将官として生彩を欠いたといわれるが、明治天皇に信任され、明治40年学習院院長、伯爵。明治天皇の大喪当日、夫人静子と共に自決した。(新潮日本人名辞典より)



第5回村民カラオケ大会

～今度は55名がパフォーマンス～

ほかほかお天気となった桃の節句、公民館では村民カラオケ大会が開催されました。今回で5回目となるこの大会も回を重ねるごとに参加者も増え、今年は55名が参加し、マイクをにぎった皆さんは、それぞれ思い思いの歌い方で熱唱していました。

当日会場には、歌好き約200名が訪れ、歌われる曲に熱心に耳を傾けていました。懐かしい曲から最近の新しい曲まで55曲、時には一緒に口ずさんだり、また拍手を送るなど、楽しい一日を過ごしていたようです。



▲熱唱の参加者

成田稔さん(白鳥)に自衛官募集相談員再委嘱

～募集事務所と地元のパイプ役として期待～

自衛官募集相談員は、自衛官として適任と思われる人の推薦や、自衛官志望者に対するアドバイス、適任者の情報提供、地域住民の自衛隊に対する軽易な要請事項(音楽演奏会や部隊見学等)を斡旋するといった業務を担っています。このほど、岩室地区の相談員として、引き続き成田稔さんが業務を担当することが決まりました。2月27日、村長室で野沢加茂募集事務所長らが出席して、佐藤村長から「地道な活動ですが、よろしくお願いします」と、委嘱状が手渡されました。



▲委嘱状を受けとる成田さん(左)

弥彦祈願花火会がいわむろの里へTVを寄付

～贈呈式に、マジックとピアノ演奏もプレゼント～

弥彦祈願花火会(渡辺一男会長)は、毎年大晦日に、弥彦神社でお祓いを受けた花火(3号玉)を弥彦山頂まで運び、お祈り後、元旦午前0時に打ち上げています。その花火のご寄付を社会に役立てようと、数年前から近隣福祉関連施設に還元してきました。今年は、いわむろの里へ『カラーテレビ』を贈ることになり、先月5日、贈呈式が同施設で行われました。80名ほどの入所者を前に、渡辺会長が「機能回復に役立ててください」と贈ると、引き換えにお礼の拍手と感謝状が贈られました。入所の皆さんは、花火会が招いた、ピアノ演奏やマジックショーにも大喜びでした。



▲マジックショーに大喜びの皆さん

「ひまわり文庫」にお礼のお手紙

～感動を手紙に託しボランティアの皆さんへ～

読書ボランティア「ひまわり文庫」に和納小学校の皆さんから「また楽しい本を読んでください」という、お礼の手紙がたくさん届きました。その一つを紹介します。ひまわり文庫の皆さんへ 和納小6年竹組 竹内摩利子…(略)こわい話、たのしい話、ちょっと考えさせられる話など読書ボランティアの方にはたくさんのお話を読んでいただきました。そして私もけっこう本を読むようになりました。おもしろいと思う本をたくさん見つけられるようになりました。本当にありがとうございました。これからは本を読むので頑張ってください。

現在「ひまわり文庫」には14名の会員がおり、毎月学校や図書館で子どもたちにたのしいお話しや絵本を読みながらふれあいの時間を大切にしています。



▲(参考)和納小での読み聞かせの時間